

# さ ざ ん か

第79号、2008年5月

例年よりちょっとこぶりなゴールデンウィークでしたが、皆さまの黄金週間はいかがだったでしょうか。

アジアではミャンマー（ビルマ）や中国で大災害が起こりました。どちらも（台風も地震も）、ひとごとではなく規模こそ異なれ、毎年我々が経験しているものです。サイクロン（台風）や地震が起こるのは防ぎようもなく、災害そのものは何万年も前から日本列島の宿命というか、むしろそういうところに我々先祖が住み着いてしまったのだから仕方ないにしても、それに対する備えと事後処理が大切だと痛切に思いました。

起こったときの被害をいかに最小限にとどめるか、起こったあとの被害を如何に少なくするか、これがすべてですね。いくら祈っても願っても、災害が訪れなくなることはありません。賢いニッポン人は「備えあれば憂いなし」と言う諺を作ってそのことを言い伝えてきたのでしょうか。もしかしたら、一部で言われている日本人の特性でもある「先憂後楽」はこういう日本の風土や土壌から生まれた自然な生き方に対する姿勢なのかもしれませんね。余りにも先々の心配ばかりしすぎて、ラテン系の人達みたいに楽観的になれないのはおそらくこういう DNA を日本人がもっているからかも、などと考えたりもします。病気に備え、老後に備え、あるいは場合によっては死後にさえ備える。アングロサクソンの唱えるリスクマネージメントの観念とはまた別のやり方で自然と我々が身につけてきたものだと思います。

ほんとはいつもいつも先の心配ばかりしないでのんびりと生きていけたらいちばん良いのでしょうか。備えるばかりの人生もまた空しいし、明日を考えない放蕩もまた空しい。行き着く先は「中庸」ということになるのでしょうか。中途半端ではまた空しい。いやあ、まったく人が生きていくことに理屈をつけようとすると混乱するばかりですね。その辺の小難しい理屈は哲学者や宗教学者にまかせて、我々は日々を感謝しながら楽しみながら生きていくのがいちばん。それがこの国の伝統のひとつでもあるのでしょうか。

---

俳句

西屋敷喜美子

春の川 夢は追わねど 生きて行く  
腰痛に 無理をするなと 燕の子  
我が家とは 居心地良きし 朧月

## 病院からのお知らせ

- \* 毎週第3金曜日の血液外来は前院長の野村紘一郎先生の担当になります。
- \* 4月から研修医が当院で1年間の研修を開始しております。米澤英理先生です。よろしくお願いいたします。
- \* 4月から脳神経外科の外来担当がかわっています。詳しくは脳神経外科外来でお尋ねください。常勤2人体制が常勤1人体制に変わったことによるものです。
- \* 外来の採血開始時間は午前8時開始になっております。朝食抜きの採血があるときは早めに来院して採血をすませ、診察時間が来るまでのあいだにゆっくりと朝食を取っていただけたと思います。
- \* 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。適切な治療で骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみたいかがでしょうか。骨折予防は寝たきり予防につながります。骨年齢：あなたの骨は〇〇歳です。という表示が出ます。
- \* MRIで脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながるからです。また、脳動脈瘤の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。無症候性の病変（症状はないけど梗塞がある）がみつかると予防の治療を開始した方もおられます。寝たきりや認知症にならないためにも一度は検査されることをお勧めいたします。
- \* MRIは腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- \* マルチスライスCTで、心臓冠動脈造影もできます。心臓カテーテル検査の代わりにもなることもあります。遠方まで心臓カテーテル検査にいられる方は是非ご検討下さい。その他全身の血管撮影に威力を発揮します。人は血管と共に老いる、といいます。MR血管撮影とあわせて利用できます。ご相談は各科の主治医にどうぞ。心臓の冠動脈造影のときは1泊2日の予定でお考え下さい。下肢の血管造影もCT、MRIを利用して可能です。
- \* 一階売店近くのロビーに「創作ひばり会」の盆栽が展示してあります。日本人の粋を代表する芸術ですのでゆっくり「盆栽ワールド」をご堪能下さい。
- \* 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。

■■■■■■■■■■ 師匠はためきそば、弟子は天ぷらそば ■■■■■■■■■■ 宮園 辰夫

先日ラジオの放談で、大学の先生達が、社会、政治、教育等々、色々な話をしていました。所が大学の生物学を教えている先生が、今の大学生は誠に勉強しないって嘆いていらした。いまさらという感じもなくはないが、講義を聞かないでぼんやりしている。話しを聞いて見ると、昨夜の友達と飲みに行った店のママが綺麗で、また従業員に好きな子がいて、楽しく飲ませてくれた、そんな事を考えてボーっとしている。そうでない子は彼女の事が好きになって、なーんてバカみたい。この先生は象牙の塔にこもっている人じゃなくて、水族館に勤めて、現場で研究しているから、授業はかなり面白いと思うけど、「寝る者は寝てろ、聞きたくなければ出て行け」と言っても、出て行く者はいない。

石原慎太郎さんも言っていたそう。今の子供達は受験勉強に疲れ果てて、大学は遊ぶ所だと考えているらしい。受かりさえすれば楽が出来ると考えているんだから、大学の意味はないといっても良い。それなら外国のように入る時やさしくして、卒業する時にすべて合格しない者は何年でも卒業できなくすると良い。大学に入りたいヤツは皆入れて、それでふるい落として行けば一生懸命勉強することだろう。

国立の大学でAV女優を呼んで、彼女が一生懸命しゃべっている最中に「やっぱりヤメテクダサイッ」で中断させた所があるそう。「バカか」。みんな大学で遊び呆けて、いい加減ふぬけになっているんだ。暴力団でも、いまどきの若者は兄貴分になぐられると、ヤメタッて言うそう。色んな芸人、職人の世界でも師匠はためきそば食べてんのに、若い者はてんぷらそば、なんて時代。「価値判断の基準がないというか、人に対して畏敬の念がないというか」いい人材をつくるしかないと言われていた言葉、もっとかみしめて欲しいものだ。

生きるあて 遠くなりつつ八十の年が遂に吾にめぐり来

水害で流れし家はそのまま新築の家見当たらず

日雇いに妻行きたれば丘畑に明日の食う糧の藪を吾が掘る

街中の病院といへども時告ぐる鶏の居て目覚め早し

---

---

## たかが、されど・・・ カラーマン（とその女）

言葉は面白い。観念的であっても言葉を上手く使うとピンチに陥ったときの助けになったりする。とくに「たかが・・・、されど・・・」はお勧めな言葉である。

たかが人生、されど人生

たかが男（女）、されど男（女）

たかが仕事、されど仕事

たかが家族、されど家族

たかがスポーツ、されどスポーツ

たかが趣味、されど趣味

たかがお金、されどお金

と何にでも応用可能である。何かにうちこんでいき詰ったときは「たかが」こんなことと思えば気持ちは楽になる。子供達がいじめや友人関係で悩んだ時、「たかが」と思うことが出来たら簡単に自らの命を絶つことはないだろう。あるいは、おとなでも借金に苦しんだり、病気に負けそうになったときも「たかが」と思えばまた生きる力が湧いてくるのではないだろうか。（そうだわねえ。でもその時は全体が俯瞰できないから、目の前の苦難がとてつもなく大きくて克服困難なものに感じたりするのよね。あとから振り返ると大したことじゃなかったなんてことも、よく経験するものねえ）

鹿児島は狭い。九州全体を視野に入れないとだめだ。いやいや、九州は狭い、日本を視野に入れないとダメだ。なんの、日本なんて狭い、世界に羽ばたかなければだめだ。などといったりするけれど、世界世界というけど、地球なんて宇宙から見たら米粒みたいな星じゃないか。何十億年と言う悠久の時間の中の、たった一瞬の時間。数十億人の中のたった一人。しかも人生はせいぜい80年。そう考えると「たかが」人間一人の苦悩なんて大したことないと思えてくる。（人間なんてちっぽけなもんだわと思えば、本当にそうものね。ただ、生まれて生きて死ぬだけ、なのかもしれないわ）

そう思う時、今の目の前の苦難なんて馬鹿みたいに小さな出来事だと思えてくるだろう。少なくとも自ら命を絶つような重大なことなんてものはないのだ。

逆に特にわけもなく投げ出しそうになった時は「されど」と考え直せばまた立ち直れるであろう。人から見たらつまらない馬鹿みたいなことでも自分にとってはとても大事なことなのである、他人の言動は自分とは関係ないと思えば案外勇気が出てくるものだ。

（一人暮らしのお年寄りにとってペットがとても貴重な存在になっていることは多いようだしね。それこそたかがペットされどペットなのね。ネコが誰よりも大事な存在になりう

るのだわ)

見知らぬ男女が運命の糸に操られ結びつく。そこから一つの命が生まれる。それが自分である。たった一つの受精卵から始まる人生。分割を繰り返し発生の様々な危険を乗り越えて一人の人間として誕生することはある意味奇跡的なことでもある。世の中の一人ひとりが生きていることは偶然ではあるが、生まれた瞬間からそれは彼（女）にとっては偶然ではなく必然となる。一人ひとりがかけがえのない存在となるのだ。

人類全体から見たらたかが一人の人生だけど彼（女）の家族から見たらそれは何ものにも代え難いものになる。されど人生なのだ。「たかが」人生と考えると、世の中に絶望したとき自殺することも選択肢に入るだろうが、「されど」人生と考えると自殺なんて馬鹿馬鹿しく思えてくるであろう。せっかく奇跡的にこの世に生まれてきたのだから、生き抜くだけ生き抜いていこうという勇気が湧いてくるであろう。（まあ、そういう風に思えればいいけど、当事者はとてもそう思えないことが多いわねえ。）

だから、そういう人をサポートする体制が必要だろう。毎年3万人以上の方が自ら命を絶つ自殺大国ニッポンにとって必要なのは、お腹周りが85センチ以上はメタボリック症候群だなんだとつまらないお世話をするより精神的サポートを出来る体制づくりである。

（後期高齢者医療制度もそうだし、いまの国の方針をみているとなんか本当に国民のためを思ってなされている政治だという実感はないわねえ。）

財政危機、財政危機だと国は大声を挙げているが、たかが「お金」であってされど「いのち」ということを忘れてるように思えて仕方ない。もともと「国民」のために「国家」があるのであって、「国家」のために「国民」が存在するのではないのである。「国家」財政を維持するために「国民」から搾り取るというのは本末転倒もはなはだしいというべきだ。（企業が栄えてるのに従業員が貧しかったりするのと同じ様なものかしらね。）

言葉は大切であると同時に言葉は怖いとも思う。言葉で騙された人々がなんと沢山存在することか。（靈感商法とか、リフォーム詐欺とか豊田商事とか全部言葉で騙したようなものだものね。愛してるってのも言葉だけのことが多かったりするしね・・・そういえば政治家とかもそうかなあ。それに、あなたも随分とあやしいとおもうけどなあ、言葉でごまかそうという姿勢が見え隠れしてるもんねえ）

言霊（ことだま）という言葉は言葉の重要性を示しているが、しかしまた言葉ではとても表現しつくせない悲しみや喜びがあることもまた事実である。（暗黙知っていうのもあるし、言葉がすべてでないことは確かだわ）

観念的にならざるを得ないが、しかし、「たかが、されど」は上手く利用したいものだと思う。（たかが「さざんか」、されど「さざんか」ってとこかしら）

夏が過ぎ 風あざみ  
誰のあこがれにさまよう  
青空に残された 私の心は夏模様

夢が覚め 夜の中  
永い冬が窓を閉じて  
呼びかけたままで  
夢はつまり 思い出のあとさき

夏まつり 宵かがり  
胸のたかなりにあわせて  
八月は夢花火 私の心は夢模様

目が覚めて 夢のあと  
長い影が夜にのびて  
星屑の空へ  
夢はつまり 思い出のあとさき

夏が過ぎ 風あざみ  
誰のあこがれにさまよう  
八月は夢花火 私の心は夏模様

---

---

編集後記

世の中あまり明るい話題が少ないような気がします。バブル経済がそれこそ泡のように飛び散ってからはずっとそんな雰囲気が続いています。本来は目標でもあったはずの長寿社会が実現しているにもかかわらず、長生きする人が多いから医療経済が破綻するとか、国立大学の授業料を私立大学並みにすれば何千億円浮くとか、はじめに「財政」ありきの議論ばかりでうんざりです。それでも、中国やミャンマーの災害後の状況を見ると、しみじみとこの国に生まれてきて良かったなあと思ったりもしますが、阪神大震災のとき、自衛隊の出動をすぐに認めずに多くの人をみすみす死なせた事実があったことを考えると、もしかしたら国家の威信や制度にとられるあまり、人の命を第一に考えないという面ではそう変わってはないのかもと思ったりもします。我々にとって良い政治とは一体どういうものなのでしょうか。(KT)